

天皇ノ皇女親子内親王ノ十四代將軍家茂ニ降嫁アリシニ過ギズ、女王婚嫁ノ例ニ至リテハ、攝關將軍諸侯門跡等極メテ多ク、攝關ニテハ有栖川宮職仁親王ノ女孝宮ノ近衛經熙ニ嫁シタル、將軍ニテハ伏見宮貞清親王ノ女顯子ノ徳川家綱ニ嫁シタル、諸侯ニテハ同親王ノ女安宮ノ徳川光貞伊紀ニ嫁シ、有栖川宮織仁親王ノ女富宮ノ徳川齊昭水戸ニ嫁シタル、門跡ニテハ有栖川宮幸仁親王ノ女淑宮ノ東本願寺光性ニ嫁シ、閑院宮直仁親王ノ女始宮ノ西本願寺光啓ニ嫁シタル如キ是ナリ、

入道親王ト法親王トハ、共ニ皇兄弟姉妹、皇子皇女、若クハ孫王ノ佛門ニ入レルモノニテ、親王ニシテ入道セルヲ入道親王ト稱シ、出家ノ後親王タルヲ法親王ト號ス、但シ孫王ノ法親王タルハ異例ニシテ普通ノコトニアラズ、抑出家入道セシモノ、親王ニハ平城天皇ノ皇子眞如アリ、親王タラザル皇子ニハ、光仁天皇ノ皇子開成、花山天皇ノ皇子深觀覺源ノ如キアリ、然レドモ此等ハ未ダ入道親王、又法親王ト稱セズ、入道親王ト稱ハ、三條天皇ノ皇子惟信入道親王ニ始マリ、法親王ト稱ハ、白河天皇ノ皇子覺行法親王ヲ始メトス、其他孫王ニシテ法親王タリシモノアリ、後鳥羽天皇ノ皇孫澄覺法親王、順徳天皇ノ皇曾孫承鎮法親王ノ類是レナリ、而シテ此等ノ皇子皇孫ハ何レモ一旦天皇ノ猶子トナリテ、然ル後法親王タルヲ例トス、中世以後皇親ノ制度漸ク衰へ、武家ノ權勢盛ナルニ及ビテハ、諸王ハモトヨリ、皇子皇女等多クハ落飾シテ僧尼トナリ、寺門ニ入り、皇子ノ住職シ給フベキ寺ヲ宮門跡ト唱へ、皇女ノ寺ヲ比丘尼御所ト稱シ、何レモ十數箇寺アリシナリ、

皇子皇女ハ、モト生レナガラニシテ親王タリシヲ、淳仁天皇以後、親王宣下ト云フコト始マレリ、蓋シ淳仁天皇ハ、皇孫ヲ以テ入テ大統ヲ繼ギタマヒシユエ、自ラ斯ルコトノ起リシモノニテ、後ニハ皇子皇女モ、宣下ヲ待タザレバ親王タルコトヲ得給ハザルニ至レリ、即チ後